



*Business
Report*

第148期中間報告書 平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

名古屋鉄道株式会社

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、東日本大震災による一時期の大幅な悪化からは回復傾向にあるものの、円高やデフレの継続に加え世界経済の減速が懸念されるなか、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、積極的な営業活動と経営の合理化に努め、当上半期の連結営業収益は前年同期に比べ4.3%減の2,781億9千4百万円、営業利益は21.9%減の107億7千2百万円、経常利益は26.7%減の84億9千6百万円となり、四半期純利益は71.0%減の12億2千3百万円となりました。また、当社単体の営業収益は0.6%増の494億3千1百万円、営業利益は6.1%減の65億2千2百万円、経常利益は5.6%増の60億1千8百万円となり、四半期純利益は24.9%増の16億2千7百万円となりました。

以上の結果と業績見通し等を踏まえ慎重に検討いたしましたところ、依然として当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が懸念され、中間配当につきましては見送らせていただくことといたしました。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、何卒事情ご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

当社グループは、本年度を最終年度とする中期経営計画において、これまでに、ICカード「manaca」の導入や輸送実態に見合った効率的なダイヤ改正による交通ネットワークの充実を進めるとともに、「manaca」の電子マネーシステム導入による生活サービスの向上、名駅地区における開発物件竣工による都市開発事業の強化、事業再編やシステム共通化によるグループ経営改革の推進などに取組んでまいりました。また、連結有利子負債の削減については、目標である6,800億円を平成22年度に前倒しで達成いたしました。当下半年期におきましても、引続き中期経営計画の更なる推進を図り、経営体質の強化に努めるとともに、地域から愛される「信頼のトップブランド」を目指し、より一層の業績向上に向け全力を傾注してまいりますので、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
河野 英雄



代表取締役社長
山本 亜土

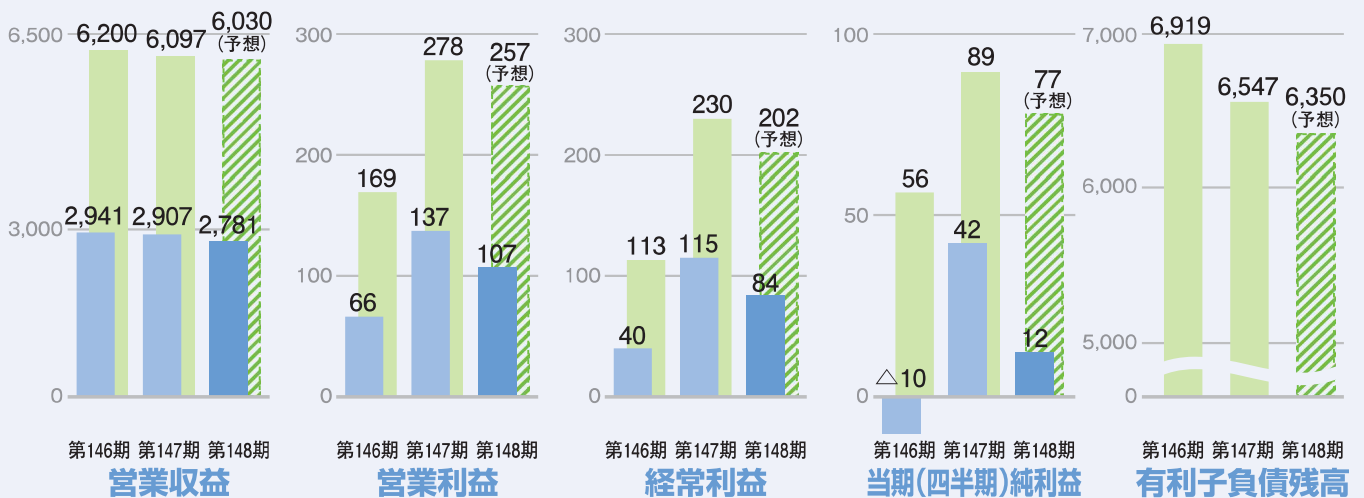
平成23年12月

平成24年3月期 第2四半期連結決算の概要

東日本大震災による出控えの影響などにより、減収・減益となりました。

主要連結経営指標の推移

■ 第2四半期(累計) ■ 期末 (単位: 億円)
(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。



平成24年3月期の見通し

通期の業況について、東日本大震災の影響による減収幅は当初の想定を下回っております。しかしながら当社グループの主要営業エリアである東海地方では、歴史的な円高水準の影響等を受け景気の先行きは不透明な状況にあり、下半期での大幅な収入回復は期待できないものと見通しております。

以上の見通しを踏まえ、通期の連結業績予想については、営業収益は6,030億円(前期比1.1%減)、営業利益は257億円(前期比7.9%減)、経常利益は202億円(前期比12.5%減)、当期純利益は77億円(前期比14.2%減)としております。また、平成24年3月期末の連結有利子負債残高については、6,350億円(前期比197億5百万円減)を見込んでおります。

営業収益 **6,030**億円 前期比 1.1%減

営業利益 **257**億円 前期比 7.9%減

経常利益 **202**億円 前期比 12.5%減

当期純利益 **77**億円 前期比 14.2%減

※上記の予想は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

名鉄グループの事業概況



交通事業

| | |
|------|-------------------------|
| 営業収益 | 779億46百万円 (前年同期比 2.3%減) |
| 営業利益 | 60億30百万円 (前年同期比 12.8%減) |

鉄軌道事業では、当社は、安定的な列車運行と事故・災害時の対応力強化を図るため、名古屋本線神宮前駅東口において「鉄道業務棟」の建設を進めたほか、ICカード「manaca」と東海旅客鉄道㈱の「TOICA」等との相互利用対応を目指し、関連するシステム等の開発及び改修に取組みました。営業施策面では、毎年春・秋に開催し好評の「犬山キャンペーン」を本年は夏にも開催するなど、沿線都市観光キャンペーンを積極的に展開しました。事業全体では、東日本大震災の影響等により定期外旅客が減少したものの、定期旅客が好調に推移し、営業収益は前年同期並みとなりました。

バス事業では、名鉄バス㈱は、サービスの付加価値を高めるため、空気中の除菌・脱臭効果がある「プラズマクラスターイオン発生機」や、座席間の仕切りとなる「プライバシーカーテン」を高速バス車両へ導入したほか、ダイヤ改正等により利便性を高め、高速バス事業における競争力向上に努めました。しかしながら、事業全体では、貸切バス部門を中心に震災による出控えの影響を大きく受けたことなどから、前年同期比で減収となりました。

タクシー事業では、本年4月に、名古屋市周辺を営業エリアとするタクシー会社3社を傘下に持つ中間持株会社、名鉄タクシーホールディングス㈱を設立し、ブランドの統一をはじめとした当該3社間の連携強化並びに経営の効率化により、競争力のある事業体制の構築を図りました。事業全体では、減休車や乗務員不足の影響もあり前年同期比で減収となったものの、車両運用の効率化を進め増益となりました。



運送事業

| | |
|------|-------------------------|
| 営業収益 | 668億76百万円 (前年同期比 0.5%減) |
| 営業利益 | 24億40百万円 (前年同期比 26.6%減) |

トラック事業では、名鉄運輸㈱グループにおいて震災の被害を受けた子会社の収入が前年同期比で大きく落ち込んだほか、貨物輸送運賃の下落等もあり、全体では減収となりました。

海運事業では、太平洋フェリー㈱は、復興関連輸送の需要が増加したほか、震災以降休止していた一般旅客営業についても6月から全面的に再開し、本年3月に竣工した新船「いしかり」のPRをはじめとした旅客利用促進策を積極的に行うなど収入の回復を図り、事業全体では、前年同期比で増収となりました。



不動産事業

| | |
|------|--------------------------|
| 営業収益 | 296億53百万円 (前年同期比 19.5%減) |
| 営業利益 | 24億92百万円 (前年同期比 22.5%減) |

不動産賃貸業では、当社は、昨年に引続き名古屋駅前のオフィスビル「名古屋クロスコートタワー」の建設を㈱中部経済新聞社などと共に進めました。また、岐阜市の旧岐阜メルサ・ファッション館に㈱ドン・キホーテの総合ディスカウントストア「ドン・キホーテ柳ヶ瀬店」がオープンするなど、保有不動産の有効活用を図りました。

不動産分譲業では、当社が一昨年から販売を開始した分譲団地「名鉄 陽なたの丘」の販売が引続き好調に推移したものの、分譲マンションの販売引渡戸数は前年同期に比べ減少し、減収となりました。



レジャー・サービス事業

| | |
|------|-------------------------|
| 営業収益 | 262億60百万円 (前年同期比 7.1%減) |
| 営業損失 | 5億37百万円 (前年同期比 -) |

ホテル業では、「名鉄ニューグランドホテル」は、開業以来初となる全面的な改装を実施し、フォーマルなシーンにも対応できるようホテル全体のイメージを一新することで、新規顧客の取込みを図りました。しかしながら、事業全体では、宴会需要の伸び悩みなどから、前年同期比で減収となりました。

旅行業では、当社・名鉄観光バス(株)・名鉄観光サービス(株)は、共同で名鉄グループ旅行情報サイト「Mたび」をオープンし、当該3社が取扱う旅行商品のインターネット販売を強化したものの、震災の影響もあり、事業全体では前年同期比で減収となりました。

観光施設の経営では、(株)名鉄インプレスは、同社が運営・管理する主要テーマパーク4施設において、集客増加策として夏休み期間のナイター営業を充実させたほか、秋には「野外民族博物館リトルワールド」において、同館初となる大型特別展「謎のアンデス文明5000年展ー時空を超えたモノ語りー」を開催し、新規来館者やリピーターの獲得に努めました。しかしながら、全体の利用者数は震災直後の大幅な減少から回復傾向にあるものの、天候不順の影響などもあり、多くの施設において減収となりました。



流通事業

| | |
|------|-------------------------|
| 営業収益 | 678億14百万円 (前年同期比 0.5%増) |
| 営業損失 | 5億20百万円 (前年同期比 -) |

百貨店業では、震災後の消費自粛の影響を受けたほか、「名鉄百貨店本店」は、旧ヤング館への(株)ヤマダ電機の出店準備に伴う売り場面積の縮小もあり、前年同期比で減収となったものの、フロア配置の見直しや、旧ヤング館の人気ブランドを集約し、20~30代の女性をターゲットにしたゾーン「MAISON de Nana(メゾン・ドゥ・ナナ)」を本館に新設するなど、お買い物の利便性と収益性の向上を図るとともに、諸経費の削減に努めた結果、収支は改善しました。

その他物品販売では、原油価格の上昇及び販売量の増加により、石油製品販売において前年同期比で増収となったほか、輸入車販売も好調に推移しました。



その他の事業

| | |
|------|-------------------------|
| 営業収益 | 299億84百万円 (前年同期比 6.3%減) |
| 営業利益 | 4億65百万円 (前年同期比 46.3%減) |

その他の事業では、当社は、「manaca」の電子マネーポイントサービスである「名鉄たまらん」の入会キャンペーンや積極的な新規加盟店の開拓を行ったほか、全日本空輸(株)や(株)十六銀行とのポイント交換サービスを開始するなど、利用者の増加と利便性の向上を図りました。また、名鉄協商(株)は、名古屋市内を中心に展開するカーシェアリングサービス「カリテコ」のステーション拡大を進めるとともに、サービス利用時のICカードキーとして「manaca」を利用可能とするなど、利用者の取込みを図りました。事業全体では、設備工事において受注が減少したことなどにより、前年同期比で減収となりました。

平成24年3月期 第2四半期連結決算の要旨

■ 四半期連結貸借対照表の要旨

(平成23年9月30日現在)

(単位：百万円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|---------------|------------------|--------------------|------------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 176,126 | 流動負債 | 405,859 |
| 現金及び預金 | 9,423 | 支払手形及び買掛金 | 53,569 |
| 受取手形及び売掛金 | 48,417 | 短期借入金 | 201,104 |
| 分譲土地建物 | 78,452 | 1年以内償還社債 | 34,773 |
| その他のたな卸資産 | 12,448 | その他 | 116,411 |
| その他 | 27,384 | 固定負債 | 527,166 |
| 固定資産 | 958,007 | 社債 | 120,000 |
| 有形固定資産 | 843,095 | 長期借入金 | 265,723 |
| 建物及び構築物 | 341,172 | 再評価に係る繰延税金負債 | 73,040 |
| 土地 | 373,949 | 退職給付引当金 | 30,098 |
| その他 | 127,974 | その他 | 38,303 |
| 無形固定資産 | 12,631 | 負債合計 | 933,025 |
| 投資その他の資産 | 102,280 | (純資産の部) | |
| 投資有価証券 | 71,650 | 株主資本 | 128,886 |
| 繰延税金資産 | 13,429 | 資本金 | 84,185 |
| その他 | 17,199 | 資本剰余金 | 18,428 |
| | | 利益剰余金 | 27,017 |
| | | 自己株式 | △ 745 |
| | | その他の包括利益累計額 | 55,542 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 5,116 |
| | | 土地再評価差額金 | 50,484 |
| | | 為替換算調整勘定 | △ 58 |
| | | 少数株主持分 | 16,678 |
| | | 純資産合計 | 201,107 |
| 資産合計 | 1,134,133 | 負債純資産合計 | 1,134,133 |

■ 四半期連結損益計算書の要旨

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位：百万円)

| 科 目 | 金 額 |
|---------------------|----------------|
| 営業収益 | 278,194 |
| 営業費 | 267,421 |
| 営業利益 | 10,772 |
| 営業外収益 | 2,641 |
| 営業外費用 | 4,917 |
| 経常利益 | 8,496 |
| 特別利益 | 1,401 |
| 特別損失 | 4,758 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,140 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,331 |
| 法人税等調整額 | 112 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,695 |
| 少数株主利益 | 472 |
| 四半期純利益 | 1,223 |

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位：百万円)

| 科 目 | 金 額 |
|------------------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 18,141 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 9,232 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 8,441 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 0 |
| 現金及び現金同等物の増加額 | 467 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,102 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 8,569 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成24年3月期 第2四半期個別決算の要旨

■ 四半期貸借対照表の要旨

(平成23年9月30日現在)

(単位：百万円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|---------------|----------------|-----------------|----------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 24,010 | 流動負債 | 204,583 |
| 現金及び預金 | 850 | 短期借入金 | 95,798 |
| 未収金 | 1,446 | 1年以内償還社債 | 34,773 |
| 分譲土地建物 | 15,631 | 前受金 | 38,774 |
| その他 | 6,082 | その他 | 35,237 |
| 固定資産 | 758,324 | 固定負債 | 417,288 |
| 鉄軌道事業固定資産 | 403,902 | 社債 | 120,000 |
| 開発事業固定資産 | 165,699 | 長期借入金 | 211,148 |
| 各事業関連固定資産 | 6,248 | 再評価に係る繰延税金負債 | 65,873 |
| 建設仮勘定 | 41,166 | その他 | 20,265 |
| 投資その他の資産 | 141,308 | 負債合計 | 621,872 |
| 関係会社株式 | 96,888 | (純資産の部) | |
| 投資有価証券 | 39,845 | 株主資本 | 106,427 |
| その他 | 4,574 | 資本金 | 84,185 |
| | | 資本剰余金 | 16,673 |
| | | 利益剰余金 | 6,296 |
| | | 自己株式 | △ 728 |
| | | 評価・換算差額等 | 54,034 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 5,333 |
| | | 土地再評価差額金 | 48,700 |
| | | 純資産合計 | 160,462 |
| 資産合計 | 782,335 | 負債純資産合計 | 782,335 |

■ 四半期損益計算書の要旨

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで) (単位：百万円)

| 科 目 | 金 額 |
|------------------|---------------|
| 営業収益 | 49,431 |
| 営業費 | 42,908 |
| 営業利益 | 6,522 |
| 営業外収益 | 3,400 |
| 営業外費用 | 3,904 |
| 経常利益 | 6,018 |
| 特別利益 | 727 |
| 特別損失 | 3,585 |
| 税引前四半期純利益 | 3,161 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 685 |
| 法人税等調整額 | 847 |
| 四半期純利益 | 1,627 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

ダイヤ改正で定時運転を確保

当社では、お客さまのニーズにきめ細かく対応するため、本年3月にダイヤ改正を行いました。このダイヤ改正では、朝のラッシュ帯の実態調査と需要予測に基づき、特急を増発する一方、比較的用户の少ない急行・普通列車を見直し、停車時分の調整などを行いました。さらに、お客さまへの案内・誘導に努めた結果、4月から9月の名鉄名古屋駅における朝間ラッシュ帯（7・8時台）の遅延時分合計が前年同期比43.9%減に改善され、鉄道事業者にとって最重要課題のひとつである定時運転確保の水準を引き上げることができました。

新ダイヤの主なポイント

- 1.朝間帯における「ミュースカイ」・「特急」の再編による大幅な見直し
 - ・出勤時における特急ニーズへの対応
 - ・輸送実態に即したダイヤ編成
- 2.輸送体制の効率化
 - ・特に乗車効率の低い列車の見直し（昼間帯～終列車）
 - ・ワンマン運転区間の拡大
- 3.最終列車の繰り下げ



コミュニケーションスローガン

『ココロをつなぐ、あしたへはこぶ。』

当社では、このたびコミュニケーションスローガンを策定しました。これは、当社が創業以来、この地域で担ってきた公共交通という使命を、『ココロをつなぐ、あしたへはこぶ。』という言葉で表現したもので、「安心」「快適」「地域愛」によって、これまで以上に地域の皆さまのココロを見つめ、ココロに届く行動を起こすことを社内外に宣言しました。

企業CMやポスターによる広報活動によりメッセージとして発信するとともに、社内啓発活動を通じて、スローガンの実践に全社的に取組み、これからも地域の皆さまから愛される会社をめざしてまいります。



過去と現在を対比して、街の発展とともに当社も成長しながら地域交通を担ってきた歴史を表現しました。



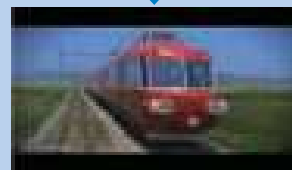
名鉄名古屋駅開業70周年記念キャンペーンにおいても、スローガンを展開しました。

テレビCMも放映しています。

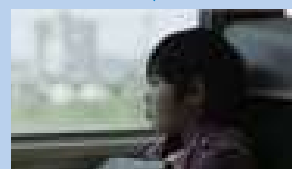
7月1日から、歌手の小田和正さんの新たな楽曲を使い、スローガンに込めた当社の思いを表現しました。



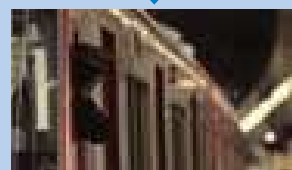
「私たちは時代をこえて」



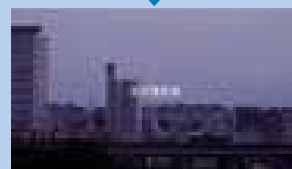
「街と街、人と人をつないできました。」



「そしてこれからは、もっとココロをつないでいきたい。」



「ココロをつなぐ、あしたへはこぶ。」

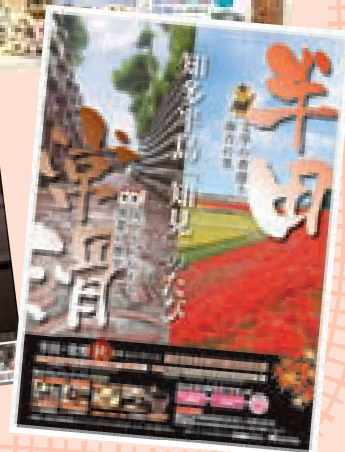
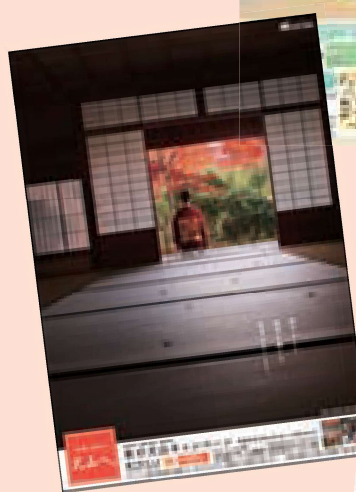
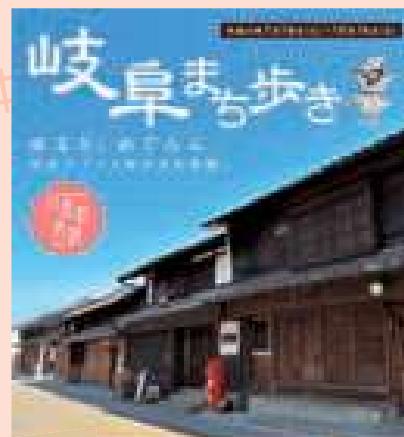


「名鉄」

沿線都市観光キャンペーン

当社では、中期経営計画の重点テーマのひとつである「交通ネットワークの充実」を図るための施策として、犬山、岐阜、半田・常滑などの沿線地域とタイアップし、地域の魅力向上及び活性化を目指してさまざまなキャンペーンを展開しています。

本年7月からスタートした「岐阜 まち歩きキャンペーン」では、名鉄全線と岐阜バスの一部区間が1日乗り放題のフリーきっぷに、岐阜グランドホテルのランチと特典クーポンをセットにした「岐阜 まち歩きランチプラン」や、「岐阜市歴史博物館 国宝薬師寺展」往復きっぷの発売などを行いました。



名鉄タクシーホールディングス(株)設立

名鉄交通(株)、愛電交通(株)及び名鉄名古屋タクシー(株)の3社は、中間持株会社「名鉄タクシーホールディングス(株)」を設立しました。

これは、3社がより一層の連携強化を図るとともに、経営の効率化を加速させることにより、競争力のある事業体制を構築することを目的としたものです。

重点施策として、ブランドの統一、サービスの差別化及び戦略的営業の推進並びに管理コストの削減を掲げ、お客さまからの信頼を高めるとともに、より一層の安全輸送とサービスの向上に努めてまいります。



会社情報

(平成23年9月30日現在)

会社概要

| | |
|------------|---|
| 設立年月日 | 大正10年6月13日 |
| 本店所在地 | 名古屋市市中村区名駅一丁目2番4号 |
| 資本金 | 84,185,525,064円 |
| 発行済株式総数 | 881,584,825株 |
| 株主数 | 90,862名 |
| 事業内容 | 鉄軌道事業、開発事業 |
| 従業員数 | 5,100名 |
| ホームページアドレス | http://www.meitetsu.co.jp/ |

役員

| | | |
|--------|-----------|--|
| 河野英雄 | 代表取締役会長 | |
| 山本亜土 | 代表取締役社長 | |
| 松林孝美 | 代表取締役副社長 | [内部統制室・関連事業部・経営企画部・事業推進部・東京支社・秘書広報部・総務部・財務部・人事部総括] |
| 柴田雄己 | 代表取締役副社長 | [鉄道事業本部長] |
| 佐藤健 | 専務取締役 | [経営企画部担当] |
| 福嶋敏雄 | 専務取締役 | [不動産事業本部長] |
| 横井孝範 | 専務取締役 | [鉄道事業本部副本部長兼計画部長] |
| 佐々嘉則 | 常務取締役 | [鉄道事業本部副本部長兼電気部長] |
| 後藤卓郎 | 常務取締役 | [財務部長] |
| 安藤隆司 | 常務取締役 | [人事部長] |
| 木下栄一郎 | 取締役相談役 | |
| 武藤雅之 | 取締役 | [病院事務部長] |
| 内田互 | 取締役 | [関連事業部長兼監理2担当、内部統制室担当] |
| 高木英樹 | 取締役 | [鉄道事業本部副本部長兼運転保安部長] |
| 柴田浩 | 取締役 | [総務部長、東京支社・秘書広報部担当] |
| 岡部弘 | 社外取締役 | |
| 中三川政美 | 常任監査役(常勤) | |
| 河原英穂 | 常任監査役(常勤) | |
| 岡谷篤一 | 社外監査役 | |
| 小笠原日出男 | 社外監査役 | |
| 濱田隆一 | 社外監査役 | |

株主メモ

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当の基準日

期末配当の基準日は毎年3月31日です。また、中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とします。

※今期(第148期)の中間配当につきましては、見送らせていただきました。

定時株主総会の基準日

定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日です。

公告方法

電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、中日新聞に掲載して行います。

* 電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.meitetsu.co.jp/profile/koukoku/>

株主名簿管理人

中央三井信託銀行株式会社

※中央三井信託銀行株式会社は、関係当局の許認可を前提に、住友信託銀行株式会社、中央三井アセット信託銀行株式会社と平成24年4月1日をもって合併し、「三井住友信託銀行株式会社」となります。

郵便物送付先・電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

電話 ☎0120-78-2031

(受付時間：平日9:00～17:00)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

株主ご優待制度のご案内

当社の株主ご優待制度には、3,000株以上の株主様に、ご所有株数に応じて半年毎に贈呈する株主優待乗車証と、1,000株以上の株主様に、年1回一律で贈呈する株主ご優待券があります。

1 株主優待乗車証 優待基準



| 権利確定日 | 贈呈時期 | 有効期限 |
|-------|-------|---------|
| 3月31日 | 5月下旬 | 11月30日 |
| 9月30日 | 11月下旬 | 翌年5月31日 |

| ご所有株数 | 株主優待乗車証の種類 | 贈呈枚数(半年) |
|-------------------------|---|----------|
| 3,000株以上 5,000株未満 | 電車線片道乗車証〔普通乗車券方式〕 ・名鉄電車線で、1枚につき1名様1回限りご利用いただけます。 ・詳細は当社ホームページをご覧ください。 | 2枚 |
| 5,000株以上 10,000株未満 | | 6枚 |
| 10,000株以上 15,000株未満 | | 12枚 |
| 15,000株以上 20,000株未満 | | 18枚 |
| 20,000株以上 25,000株未満 | | 24枚 |
| 25,000株以上 30,000株未満 | | 30枚 |
| 30,000株以上 35,000株未満 | | 36枚 |
| 35,000株以上 40,000株未満 | | 42枚 |
| 40,000株以上 100,000株未満 | 電車・名鉄バス全線乗車証〔パス券方式〕 ・ご持参の1名様がご利用いただけます。 ・名鉄バス株のバス路線には、高速バス路線などご乗車にできない路線があります。 ・各自治体のコミュニティバス路線などには、ご乗車できません。 ・詳細は当社ホームページをご覧ください。 ※平成24年5月下旬発送の株主優待乗車証から「manaca」への移し替えが可能となる予定です。 | 1枚 |
| 100,000株以上 500,000株未満 | | 2枚 |
| 500,000株以上 1,000,000株未満 | | 5枚 |
| 1,000,000株以上 | | 10枚 |

2 株主ご優待券 優待基準



| 権利確定日 | 贈呈時期 | 有効期限 |
|-------|------|---------|
| 3月31日 | 6月下旬 | 翌年6月30日 |

| ご所有株数 | 株主ご優待券の内容 | 贈呈枚数(年) |
|------------|--|---------|
| 1,000株以上一律 | 【電車線株主招待乗車証】 名鉄電車線で、1枚につき1名様1回限りご利用いただけます。 | 2枚 |
| | 【リトルワールド、日本モンキーパーク、南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国の共通ご招待券】 1枚で1名様1施設でご利用いただけます。 | 6枚 |
| | 【名鉄グループホテル・旅館宿泊優待割引券：20%割引、名鉄インは10%割引】 当社指定の名鉄グループホテル・旅館の1泊に、1枚で同時に4名様までご利用いただけます。 | 4枚 |
| | 【名鉄観光サービス募集型企画旅行商品優待割引券：4～5%割引】 パノラマトライヤやジャンボマーチなど、名鉄観光サービス(株)の指定旅行商品を同社の店頭で購入する場合に限ります。1枚で同時に2名様までご利用いただけます。 | 2枚 |
| | 【名鉄百貨店の買物優待券：10%割引】 食料品や特別奉仕品、一部ショップなど、割引除外の商品・店舗があります。100円未満の金額についての割引はございません。 | 18枚 |